

## 第2回 発達支援教育研修会

(期 日) 令和6年8月6日(火)

(会 場) 1部会: 県居小学校 2部会: 佐鳴台中学校 3部会: 可美小学校 4部会: 中郡小学校  
6部会: 神久呂中学校 7部会: 気賀小学校 5・8部会: 内野小学校

☆講演 「愛着障害と発達障害の理解と支援～社会参加を目指して～」

和歌山大学教育学部 米澤 好史 先生

### 御意見・御感想

- 普段子ども達と接していて、ADHD や ASD の障害の表れとして見ていたものが、実は愛着障害からくる表れの可能性がある、ということを知り目から鱗でした。まずは子どもが好きなのを一緒に体験し、楽しい気持ちを互いに共有するところから始めたいと思います。
- すべての支援は、先手で、こちらから手の中に入れてあげる、本当の苦しさや気持ちを正しく見立てることが大切だと改めて感じました。
- 今回の講話を聞いて印象に残ったのは、攻撃行動の最大の原因は、愛着を理解していない物や人にあることが分かりました。まず、指導や支援をする側が、愛着障害の特性を理解することを大切にしたいと思います。また、発達障害と愛着障害は併存することも分かり、そのことを踏まえて、今後の教育活動や生徒指導に生かしていきたいです。
- 愛着障害とは関係性の障害と感情発達の障害であり、感情発達の中のパニック的な障害だけを捉えるのは間違った認識であることが分かりました。また、愛着に関して、安心基地や探索基地といった基地があり、それぞれ必要な基地であることが分かりました。愛着障害の子供が表出性の問題行動を起こしている時は、感情を紛らわすためであり、その行動を注意しても原因はなくならないため、むしろその行動を増やしてしまうことを知りました。これから支援する時には一緒に横に立って活動し、同じ気持ちを共有していきたいと思いました。



☆分科会 テーマ「教科学習～数・国・算～」

テーマ「自立活動～SST～」

- 児童の好きなキャラクターを使って興味関心をもたせたり、文字をまとまりとして捉えさせたりする。
- 九九を歌ったり、呪文のように唱えたりして覚えさせるのが効果的。
- コース別学習は、個別最適な学びと協働的な学びの環境が整い、児童の意欲を高めることができる。

- 感情のイラストカードを使って相手に気持ちを伝える練習をしている。
- 困ったことを悪態ではなく、言葉で伝えるように声掛けをしている。
- グーグルスライドを使って苦手なことをカテゴリー別に分けて、友達の意外な面を探す活動をしている。

### ☆実践発表と協議

#### ①船越小教諭

『どうぞよろしく「〇〇〇学級」です～感性を育み、自己肯定感へ。環境づくりと図画工作科をベースにした小学校の実践～』

#### ②有玉小教諭

『自分の考えをもち、伝えることができる子の育成～個別最適な学びと協働的な学びを通して～』